日本産業技術史学会2016年度第3回理事会議事録

日時：2017年4月1日（土）　14：00　～　17:00

場所：名古屋工業大学2号館11階ラウンジ

出席者：堀尾尚志、天野雅敏、石村眞一、田中一郎、廣田義人、麓和善

委任状：橋本毅彦、藤原惠洋、鈴木淳

欠席：山田大隆

オブザーバー：馬渕浩一

報告その他

1.　本会運営の状況について(財務・会費納入状況等)

廣田理事から資料に基づき、2016年度の収支状況について、近刊の会誌21巻1号の費用は次年度繰越になるので、収支は黒字との説明があった。

会費納入状況については、会員141名のうち、2016年度まで完納106名、1年未納19名、2年滞納9名、3-5年滞納6名、6年以上滞納2名、完納率は75%で昨年並みとの説明があった。

2.　本会運営の状況について(会員の動向等)

堀尾理事より資料に基づいて、会員数は2015年度名簿刊行以降13名増、11名減で、137名(うち賛助会員1)との説明があった。

3.　2017年度年会の準備状況について

麓理事より、6月23日理事会は2号館11階ラウンジ、24日年会は2号館2階教室、懇親会は学内もしくは近隣を予定しているとの説明があった。25日見学会は午前、復元中の名古屋城本丸御殿、午後、揚輝荘(松坂屋初代社長伊藤次郎左衛門祐民別荘)との提案があり、了承した。(その後、麓理事から連絡があり、午前、揚輝荘、午後、名古屋城本丸御殿となる見込み)

4.　テーマセッションの進行等について

研究発表は9件なので10-12時、13-14時とし、14-15時総会、15時から17時半までテーマセッション、18時から懇親会とすることを申し合わせた。

田中理事より、テーマセッションは昨年度に引き続き、産学連携をテーマとするとの説明があり、発表者は馬渕浩一氏と橋本毅彦氏を第一候補とし、橋本氏が不都合な場合は大淀昇一氏もしくは種田明氏、コメンテーターは昨年度の発表者沢井実氏、夏目賢一氏にお願いすることで了承した。

5.　会誌への投稿及び刊行・配信について

田中理事より、21巻1号が刷り上がり、現在、査読中の論文が3件で、22巻は12月刊行を予定している、Webジャーナルの投稿規定とバックナンバーがweb上で読めることを会誌に記載したいとの報告があり、了承した。石村理事よりwebジャーナルへの投稿1件を査読中であるとの報告があった。22巻以降の会誌発送業務は麓理事の方でお願いすることとした。

議事案件

1.　役員選挙規定の改定について

堀尾理事から、役員選挙規定の改定に関する持回り理事会の審議の結果について報告があり、改定案を了承した。なお、総定数については時を改めて議論することとした。

2.　 Webジャーナルの投稿規定等について

Webジャーナルの投稿規定の改定について、和文は石村理事から、英文は廣田理事から提案があった。論文に記載する著者の所属については本人の意思を尊重すること、和文の句読点は会誌に準ずること、英文の細かい書式についてはしかるべき研究機関の規定を参照することとした。

3.　2018年度の年会について

石村理事より、首都圏の大学で開催するものとして交渉中であり、4月中に結論を出したいとのことで、了承した。

4.　会員の除籍について

廣田理事より、6年以上の滞納者が2名いるが支払の意思が認められるので除籍は見送りたいとの提案があり了承した。

5.　その他

石村理事から学会の活性化に関して、博士課程の院生を抱える大学教員のほか、自分の経験を残したい技術者OB、NPOなどを取り込む必要があり、そのためには産業技術史の幅を広げる必要があるとの提言があった。